



Silk Central 19.0

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

Copyright © Micro Focus 2004-2018. All rights reserved.

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ及び Silk Central は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2018-06-06

目次

Silk Central 19.0 リリース ノート	4
Silk Central 19.0 の新機能	5
ユーザー補助	5
管理	5
トークンを使用した Web サービスの認証	5
アクセス許可の改善	5
テスト	6
ライブラリの読み取り専用設定	6
共有テスト	6
実行計画とテスト実行	6
外部実行	6
手動オフライン テストのカスタム ステップ プロパティ	7
テストの現在の実行ステータスの表示	7
API の改善	7
インテグレーション	7
Mobile Center のデバイス上での手動テスト	7
Jira Agile - JQL 文字列制約の拡張	7
Team Foundation Server 2017 のサポート	8
CI との統合	8
SAP Solution Manager 7.2 のサポート	8
Microsoft SQL Server 2017	8
システム要件および前提条件	9
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	11
Micro Focus へのお問い合わせ	12
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	12
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	13
サポートの終了	15
予定されているサポートの終了	16

Silk Central 19.0 リリースノート

バージョン 19.0

2018年6月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 19.0 の新機能

Silk Central 19.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

ユーザー補助

視覚障害を持つユーザーに対するユーザー補助要件を満たすために、Silk Central 19.0 では、キーボードを使って Silk Central 全体にアクセスできるようにし、また、スクリーンリーダーによる音声フィードバックを利用できるように改善しました。

Micro Focus は、NVDA と Mozilla Firefox を使用することを推奨します。

管理

トークンを使用した Web サービスの認証

組織におけるセキュリティの向上を支援するため、Silk Central 19.0 では、Web サービスの認証にユーザー名とパスワードのほかに、Web サービス トークンを使用できるようになりました。

Web サービス トークンを使うと、ユーザー名とパスワードがネットワーク越しに送信されなくなるため、セキュリティが向上します。さらに、LDAP 統合を使っている場合には、Web サービス トークンはパスワード更新ポリシーによる影響を受けないため、パスワードが変わることによる統合機能のメンテナンス作業も不要になります。Web サービス トークンは、削除されたり、同じユーザーに対して再生成されない限り、Silk Central Web サービスへのアクセスは有効です。他の認証情報と同等の注意を払って、Web サービス トークンを扱ってください。

アクセス許可の改善

Silk Central 19.0 で行われたアクセス許可の改善について説明します。

監査ログへのアクセス許可

監査ログには、ユーザーのログイン/ログアウトなどのユーザー アクションに関する情報が含まれています。このような情報を保護するために、Silk Central 19.0 では、監査ログにアクセスできるユーザーを限定するアクセス許可を追加しました。

ログ ファイルを表示/削除するためのアクセス許可

ログ レベルにもよりますが、ログ ファイルには、システムのプロセスに関する情報が含まれています。テスト環境によって、機密情報にも、エラー時の貴重な情報にもなり得ます。このような情報を許可無く表示したり、不用意に削除されることを防ぐために、Silk Central 19.0 では、ログ ファイルを表示/削除するための新しいアクセス許可を追加しました。

ステータスの理由を管理/削除するためのアクセス許可

プロジェクト全体に対して、ステータスの理由の作成やカスタマイズが野放しに行われることを避け、一貫性を保つために、Silk Central 19.0 では、ステータスの理由を管理/削除するための新しいアクセス許可を追加しました。

テスト

ライブラリの読み取り専用設定

ベースラインの主な目的は、特別なチェックポイントまたはリリースなど、ある状態を保持することであり、変更されるべきではありません。以前のバージョンの Silk Central で共有ライブラリを使っていると、ベースラインが参照している共有ステップやキーワードの変更を禁止できなかったため、結果としてベースラインを変更できてしまいました。Silk Central 19.0 では、共有ライブラリを読み取り専用を設定できるようになり、この問題が解決されました。この機能は、**ライブラリの読み取り専用設定** という新しいアクセス許可で制御できます。

共有テスト

Silk Central 19.0 では、プロジェクト間でテストを共有する機能をさらに改善しました。

コピーと貼り付けに変わる選択 UI による共有

Silk Central 18.5 では、コピーと貼り付けによって共有テストの参照を作成していました。Silk Central 19.0 では、この方法は選択 UI による方法に変わります。つまり、参照プロジェクトのダイアログを使ってテストを選択できます。共有プロジェクトでコピーして参照プロジェクト間に貼り付けても参照は作成されません。

参照テストの解除

プロジェクトの初期段階で、プロジェクトの間で共通なテストの一貫性を保つ中央リポジトリを使って、テストを参照するテスト アプローチを採用した場合を考えます。プロジェクトが進み、参照プロジェクト内で機能にバリエーションが必要になり、カスタマイズしなければならなくなると、そのテストを中央リポジトリから切り離す必要がでてきます。つまり、そのテストをプロジェクト ローカルのテストに変更し、テンプレートから変更の更新を受け取る必要もなくなります。このような要求に対応するため、参照プロジェクトでテストの参照を削除する機能を追加しました。参照を削除すると、誰がいつ行ったかが履歴に記録されるため、後から確認できます。

特定のテストの利用状況の確認

共有プロジェクトでテストを変更すると、すべての参照プロジェクトに影響を与えます。影響を事前に確認できるようにするため、**利用状況** タブが共有プロジェクトのテストごとに追加されました。このタブには、参照中のすべてのテストが表示されます。

テスト タイプの変更処理の対応

以前のバージョンの Silk Central では、テスト タイプの変更を自動的に反映させることができず、参照プロジェクトにおいて手動でテスト タイプを変更する必要がありました。Silk Central 19.0 を使うと、テスト タイプの変更も他の変更と同様に扱うことができるため、手動で変更する必要がなくなります。

実行計画とテスト実行

外部実行

Silk Central 実行サーバーによって実行されたのではなく、既存の外部ツール環境で実行された自動テストの結果を、Silk Central で管理できます。

この機能を使うと、既存の独自の実行環境を持ち、その環境が複雑で特殊すぎる場合でも、Silk Central の実行環境に適用することができます。また、継続的インテグレーション (CI) システムなどの様々なソー

スから自動テストの結果を利用しているユーザーは、テストプロセス全体にわたるすべての結果を 1 箇所に収集することで、要件、バージョン、ビルドと結果を関連付け、包括的なレポートと意思決定を行うことができます。

Silk Central におけるテストの作成や実行計画にまつわるプロセス全体は通常と変わりません。Silk Central でテストを作成し、実行計画に割り当て、実行するだけです。

違いは、実行計画の配置設定にあります。実行サーバーを指定する代わりに、割り当て済みテストの外部実行を有効化します。

このような実行計画の実行やその実行の結果は、通常の実行計画の実行と同じように Silk Central UI に表示されます。通常と異なるのは、この実行計画が、外部実行環境からの結果の受信を待機しているという点です。

このような外部実行計画の実行を外部からアクセスするには、Silk Central 19.0 に追加された REST API を利用します。この REST API を使うと、実行計画の実行やそこに割り当てられているテストの実行についての情報を取得できます。さらに、この REST API を使って結果ファイルをアップロードしたり、テストの実行ステータスを設定したり、実行計画の実行を完了させることができます。REST API は、Silk Central をインストールしたマシンに [ホスト:ポート\[/インスタンス\]/Services1.0/swagger-ui.html](http://localhost:19120/Services1.0/swagger-ui.html) (<http://localhost:19120/Services1.0/swagger-ui.html> など) でアクセスして、インタラクティブに操作できるドキュメントで確認できます。

手動オフライン テストのカスタム ステップ プロパティ

手動オフライン テストで使用する Excel シートに、カスタム ステップ プロパティの情報が含まれるようになりました。

テストの現在の実行ステータスの表示

現在実行中のテストについて、より適切な概要を提供するため、**アクティビティ** ページの **現在の実行** ビューに、実行計画のステータスが表示されるようになりました。

分散テスト実行が有効になっていると、実行計画のテストごとにステータスが異なります。このため、実行計画の実行の詳細に、テストの実行それぞれのステータス情報が表示されます。個々のテストが、1 個のテストを割り当てられた実行計画のように処理されます。個々の割り当て済みテストごとに、テストが実行サーバーを待機中か、現在実行中か、結果を取得中か、既に完了済みかを確認できるようになりました。

API の改善

Silk Central 19.0 に新しい REST API が追加されました。この API を使うと、実行をトリガーしたり、完了した実行の結果を取得できます。また、実行の開始時に、パラメータを渡すこともできます。

インテグレーション

Mobile Center のデバイス上での手動テスト

Mobile Center が提供するモバイル デバイスに、Silk Central の手動テストからアクセスできるようになりました。

Jira Agile - JQL 文字列制約の拡張

今までのバージョンの Silk Central では、JQL 文字列に 128 文字まで使用できましたが、このバージョンからは、1000 文字まで使用できるようになりました。

Team Foundation Server 2017 のサポート

Silk Central 19.0 では、Team Foundation Server 2017 をソース管理統合と問題追跡統合でサポートするようになりました。

CI との統合

Silk Central 19.0 では、CI との統合が強化されました。

追加の実行情報を渡す機能

Silk Central では、CI サーバーから実行をトリガーするときに、追加の実行情報を渡すことができるようになりました。詳細については、[Silk Central Blog](#) を参照してください。

Jenkins パイプラインのサポート

Silk Central Jenkins 統合でパイプラインが利用できるようになったため、継続的インテグレーションをより効率良く定義できます。

SAP Solution Manager 7.2 のサポート

Silk Central 19.0 では、SAP Solution Manager 7.2 を要件統合と問題追跡統合でサポートするようになりました。

Microsoft SQL Server 2017

Silk Central 19.0 では、Microsoft SQL Server 2017 をサポートするようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機（ベアボーンキット、ショップブランド機を含む）は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 テスト済みおよびサポートされているソフトウェア 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー：500 MB
- アプリケーション サーバー：300 MB
- チャート サーバー：200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 79 以降 が必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

以下の問題が Silk Central 19.0 で解決されました。

SI #	RPI #	説明
2846487	1102606	Issue Manager : アクションのコンテキストで必須フィールドを指定する機能
2848919	1102910	共有ライブラリ : ベースライン化したプロジェクトのコンテキストで編集を避けるために、ライブラリを読み取り専用を設定する機能
2870082	1105958	アクセス許可 : ステータスの理由の管理アクセス許可と削除アクセス許可の分離
2870336	1106005	アクセス許可 : 監査ログの表示アクセス許可の分離
2870336	1106007	アクセス許可 : ログ ファイルの表示アクセス許可と削除アクセス許可の分離
2880054	629838	フィルタ : 組み込みプラットフォーム属性の使用時に "---" をフィルタする機能
3104251	1109243	TM_V_Last2Weeks の削除と再作成（権限付与問題「ORA-01720: 'SYS.DUAL' に対する GRANT オプションは存在しません。」の回避）
3112951	1110079	実行計画の開始時に、テストが割り当てられているかどうかを確認する前にフィルタを評価する
3114272	629716	ユーザー管理 : グループ割り当てとユーザー割り当てに氏名を表示する
3123199	1111228	テスト サイクルの同期 アクション : 手動テストの実行の同期 アクセス許可の確認
3125817	1112675	UpdateRequirements API によるフラグ ステータスの更新の回避
3127132	1111413	AWS クラウド統合 : 地域リストへのシドニー地域の追加とインスタンス タイプの更新
3132524	1111948	キーワードの問題 : リンクしたコピーのリンクしたテストケースにキーワードが含まれない
3134740	1112146	手動オフライン テスト : カスタム テスト ステップ プロパティの追加
3135103	1112197	現在の実行を中止すると前の実行の結果ファイルを Silk Central が生成しない
3135590	1112228	一意でないパラメータ名に対するワイルドカード フィルタの問題
3135826	631423	Silk Meter : 複数のクライアントからのモバイル ライセンス チェックアウトの同期問題
3135934	1112250	添付ファイルを持つプロジェクトのエクスポート エラー
3136202	631354	Silk Meter : 複数のクライアント マシンからライセンスをチェックアウトする場合のモバイル ライセンス処理の改善
3136217	1112284	Silk Central のセキュリティ 警告
3142135	1112978	アプリケーション サーバーを再起動するまで実行のデプロイが停止する
3142590	1112918	テスト実行結果に Silk Test Classic テストケースの実行に使用したテスト データが表示されない
3146079	1113197	手動テスト結果 : 結果ファイル（画像）を PDF に表示する
3146728	633773	Silk Performer 統合 : パーセンタイル データの書き込み時の問題

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 19.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 4.4、5.x、6.x、7.x、8.x (モバイルデバイスのテスト)
- iOS 9.3、10.x、11.x (モバイルデバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 1
- Microsoft SQL Server 2017
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポートされません。
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)。Oracle RAC はサポートされません。

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 6.2
- Caliber 11.4、11.5
- Mobile Center 2.51 以降
- Silk Performer 19.0
- Silk Test 19.0
- StarTeam 15.x、16.x
- Silk TestPartner 6.3
- Unified Functional Testing (UFT) 14.0

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 6、7
- Atlassian JIRA Agile 6、7
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.14.2
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.7 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- SAP Solution Manager 7.2
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

サポートの終了

このトピックでは、Silk Central 19.0 ではサポートされなくなる機能を示します。

IBM Rational RequisitePro

IBM Rational RequisitePro は、Silk Central 19.0 ではサポートされません。

SAP Solution Manager 7.1

SAP Solution Manager 7.1 は、Silk Central 19.0 ではサポートされません。

Team Foundation Server 2012 および 2013

Team Foundation Server 2012 および 2013 は、Silk Central 19.0 ではサポートされません。

Microsoft SQL Server 2012

Microsoft SQL Server 2012 は、Silk Central 19.0 ではサポートされません。

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

Microsoft Windows 7 (実行サーバー)

将来のリリースでは、Microsoft Windows 7 はサポートされなくなる予定です。

VMware vCloud

将来のリリースでは、VMware vCloud はサポートされなくなる予定です。